

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	病児保育事業			シート番号	014-023
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成
				課	評価責任者(課長名)
					橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	有
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	児童福祉法第6条の3第13項			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
5	事業実施の経緯	保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的として、平成14年5月1日から、子育て支援プラザ内(堺区)において、乳幼児健康支援一時預かり事業(堺市病後児保育室)として事業を開始。平成21年10月に医療機関併設型の病児・病後児保育施設を新規開設(南区)、平成25年12月には北区に、平成27年10月には西区に、平成28年3月には堺区に開設(平成28年3月に堺区内で病児・病後児保育施設開設に伴い、同月末に堺市病後児保育室を閉室)。平成29年3月に中区に5箇所目の病児・病後児保育施設を開設。平成30年3月から訪問型病児保育事業を開始。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	生後6か月から小学校6年生までの児童を養育する家庭			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	子育て中の保護者の仕事と育児の両立を支援し、安心して生み育てやすい環境を整備する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	【施設型】 医療機関併設型及び医療機関近郊・連携型の病児・病後児保育施設の運営を委託、又は運営費の一部を補助。 【訪問型】 訪問型病児保育事業の運営をNPO法人へ委託。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	医療機関、NPO法人				

Ⅲ. 投入量

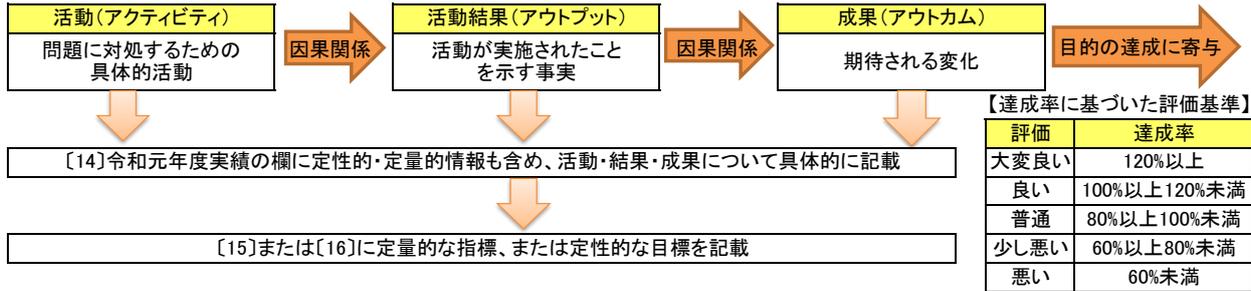
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	72,002	68,264	89,942	81,829	87,838	79,836	92,070	
	主な事業費内訳	委託料	千円	54,772	56,330	79,618	73,823	78,302	72,506	83,359
		その他	千円	17,230	11,934	10,324	8,006	9,536	7,330	8,711
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円	44,424	33,508	45,017	40,114	48,972	32,868	49,860
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他()	千円							
		一般財源	千円	27,578	34,756	44,925	41,715	38,866	46,968	42,210
	12	人件費 (b)	千円	6,725	6,725	6,890	6,890	4,705	6,810	6,890
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	78,727	74,989	96,832	88,719	92,543	86,646	98,960

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	病児保育事業	シート番号	014-023
-------	--------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	本事業をより幅広く市民へ周知するため、保育施設入所者への案内等の周知を行うとともに、病児・病後児保育施設の運営の委託、補助により保護者の子育てと就労の両立を支援し、子育て環境の整備を実施。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		施設型病児保育施設 設置箇所数	箇所	目標値	5	5	5	5
				実績値	5	5	5	
				達成率	100%	100%	100%	
				評価	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など	堺市子ども・子育て支援事業計画(平成27年度～)で設定						
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		延べ利用者数(施設型・訪問型)	人	目標値	2,400	3,200	3,200	3,200
				実績値	2,161	2,829	2,504	
				達成率	90%	88%	78%	
				評価	普通	普通	少し悪い	
	算出方法・設定根拠など	実績等を勘案して設定						

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① 延べ利用者数(施設型・訪問型)	人	2,161	2,829	2,504
	② 上記①にかかる年間経費	千円	74,989	88,719	86,646
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	34,701	31,361	34,603
	備考(算出についての説明等)				
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①				
	② 上記①にかかる年間経費	千円			
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)				

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	様々な広報媒体を活用して事業周知を行うなどしたが、年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響により、受入れの症状を限定したこともあり、利用者数は増加しなかった。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	病児保育事業	シート番号	014-023
-------	--------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 子育て中の保護者の仕事と育児の両立が困難になる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 子育て中の保護者の仕事と育児の両立が困難になる。新型コロナウイルス感染症拡大時には、受入れ症状の限定や事業の休止を実施。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 事業の運営を委託、又は運営費の一部を補助して実施しており、コスト縮減は困難である。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 新型コロナウイルス感染防止のため、府内の感染状況に応じて、受入れ児の症状の限定等を既に実施している。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 病児保育に対応するため、既に民間医療機関等へ運営を委託等しており、効果的な運営を行うことができている。ICTを活用した事業の効率化を検討する。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見 病児保育事業は、子育て中の保護者が仕事と育児を両立させるために必要な事業であり、教育・保育施設の利用者数の増加に伴い、当事業のニーズも比例して増加傾向にある。事業の運営は民間医療機関等へ委託、又は運営費の一部を補助して実施しており、効果的な運営を行うことができている。			